

令和5年10月6日

第1・2学年児童保護者の皆様

千早赤阪村立赤阪小学校
校長 蔦 亜紀朗
千早赤阪村立千早小吹台小学校
校長 大門 賀子

第1・2学年の週当たり授業時間数の削減について(お知らせ)

寒露の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、標記につきまして、両村立小学校では今年度下記の通り暫定的に対処することといたしましたので、お知らせいたします。ご理解とご協力を賜りますとともに、週1日下校時刻が今までより早くなりますことへのご対応をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 削減内容(赤阪小学校)

・第1学年 11月から木曜日の6時間目の授業を無くし、毎日5時間授業に。

※令和5年11月2日[木]～3学期末

・第2学年 1月から木曜日の6時間目の授業を無くし、火曜日のみ引き続き6時間授業に。

※令和6年1月11日[木]～3学期末

2. 削減の経緯

・標準の授業時間数は、第1学年で週25時間(年間34週)、第2学年で週26時間(年間35週)です。実質年間では42週あり、気象警報発令や流行性疾病の感染拡大による休校や学年閉鎖があっても、どの学年でも履修すべき内容を年度内の授業で扱えるようにしております。

・本村の教育方針により外国語(英語)教育に力を入れているため、20年以上前から村立小学校の第1・2学年でも週1回(30分)の外国語活動を独自に実施しています。今年度も、第1学年では6月から、第2学年は4月から標準の授業時間数より週当たり1時間多くなっています。

・国レベルでも「中央教育審議会特別部会」から、次年度に向けて「標準を大幅に上回る授業時間数は見直すこと」という提言が8月になされました。今後の動向を踏まえ村立小としましては、今年度途中からでも、例年特に授業時間数が多くなる第1・2学年で暫定的に上記の期間で一部時間数の削減を行うことにいたしました。